

平成 21 年 9 月 24 日

株式会社三菱東京 UFJ 銀行

マネー・ローンダリング防止システムの本邦導入について

株式会社三菱東京 UFJ 銀行（頭取 ^{ながやす} 永易 ^{かつのり} 克典）は、本日、国内において、マネー・ローンダリング防止システム（取引モニタリングシステム）のシステムリリースを実施致しました。今後、テスト期間を経て、本格的な運用を開始致します。

当行は、グローバルな総合金融グループの一員として、その業務が犯罪目的に利用されることを防止すること、組織犯罪による金融サービスの濫用を防止することが経営の重要課題の一つであると認識し、様々な対応を講じております。その一環として、当行では、マネー・ローンダリングに関する一元的な管理部署を設置するなど、マネー・ローンダリング等の防止のための管理態勢を整備し、本人確認、リスクの高い取引等への対応、疑わしい取引の報告などの適切な運営に努めてまいりました。

このたび、本邦に取引モニタリングシステムを導入することにより、マネー・ローンダリング等の防止のための管理態勢のさらなる高度化を図ります。新たに導入するシステムは、欧米ほか主要国の金融機関で採用されている米国 SAS Institute 社製ソフトウェアをベースに当行が開発したシステムであり、マネー・ローンダリング等に関与している可能性があると思われるリスクの高い取引を、よりの確にかつ迅速に検知するものです。

今後も、当行は、金融システムを利用した犯罪行為の防止を図るとともに、口座・取引の浄化を一段と進め、お客さまにより安心してサービスをご利用頂けるよう努めてまいります。

以上